

## 完了実績報告の提出書類～地域材関係①

共通事項

- ◆ 対象住宅・建築物で使用了「地域材」は完了実績報告時に確認します。
  - 共通ルール・・・主要構造材について、適用申請書で定めた使用割合を使用していること（50%未満、50%以上、80%以上）
  - 地域材加算・・・共通ルールに加え、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用していること
- ◆ 主要構造材（柱・梁桁・土台）の使用割合や使用量が確認できる次の資料を提出していただきます。
  - **取り扱い事業者登録書等の写し**
    - ・ 提出の対象となる事業者は・・・**地域材を証明した最終の事業者**（合法木材であれば最終出荷者）
    - ・ **木材を扱った時期や証明した時期に有効であること**とします。木材を扱った時期と証明した時期が異なる場合は、両方の時期に有効であることとします。
  - **地域材の証明書等の写し**
    - ・ **施工事業者宛の証明書**です。証明する住宅の情報も明記し、発行者として押印してください。
    - ・ 証明に必要な事項（証明者、登録番号、日付、制度で必要とする表示事項等）に漏れがないようにしてください。
    - ・ 証明する木材（サイズ、本数、材積）を明確にしてください。内訳を別紙とする場合は、割り印や別紙との関連を明確にしてください。
  - **木材の納品書の写し**
    - ・ **施工事業者宛の納品書**です。納品する住宅の情報も明記し、発行者として押印してください。
    - ・ 共通ルールが確認できる部位（使用量であれば対象の部位、使用割合であれば対象の部位全数）、地域材加算を対象とする場合は、柱・梁・桁・土台の全数を提出してください。
    - ・ 納品書には、共通ルールを満たしていることが確認できるよう部位ごとに集計してください。
    - ・ 納品する木材（サイズ、本数、材積）を明確にしてください。内訳を別紙とする場合は、鑑に別紙との関連を明確する、鑑と別紙とで割り印するなどしてください。
  - **木拾表**（必要に応じて作成してください）
    - ・ 納品書等において使用部位毎に集計されている場合は、木拾い表の作成は不要です。
    - ・ 木拾表を作成する際は、地域材の証明書等、納品書と木材の内訳（サイズ、本数、材積）を整合させてください。

# 完了実績報告の提出書類～地域材関係②

共通事項

## 合法木材事業者認定書

合法木材供給事業者認定書

令和元年4月15日

株式会社〇〇会社  
代表取締役 〇〇 〇〇 殿



平成27年4月〇日付で申請のありました、合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定申請について、当団体の事業者認定実施要領に基づき、下記のとおり認定します。

記

団体認定番号 木連第\*\*\*\*号

事業者の所在地 東京都〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇

事業者の名称 株式会社〇〇会社

代表者の氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

認定の有効期間 令和元年4月15日から令和3年4月14日

木材を扱った時期が、有効期間前棟に近い場合は、更新前と更新棟の認定書を添付してください。

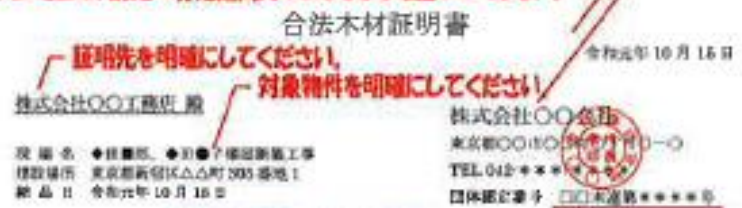
(各種書類で扱った時期が明確である場合は、有効期間内の認定書のみで結構です。)

原木供給事業者～最終出荷者まで地域材の木材の供給に関わった全ての事業者の合法木材事業者認定書を添付してください。

## 合法木材証明書(例1)

出荷場所の住所、番号が合法木材事業者認定書と整合しているか確認してください。  
→住所が異なる場合は、出荷場所が合法木材事業者認定に含まれていることがわかる書類を添付してください。  
例)事業者認定申請書及び添付書類の写し

納品日、証明日は、認定の有効期間内であることを確認してください。



下記の製品は、合法性・持続可能性が証明された木材・木質材を使用した製品であることを証明いたします。  
合法木材である旨が明記されているか確認してください。

品名	種別	M	材	寸	材材種	数量	材積	備考
柱	材	100	105	2000	0.0223	54	1.2028	
柱	材	100	120	2000	0.0432	12	0.5194	107棟付 2.33041 ★
薄し柱	材	120	120	8000	0.0660	4	0.2668	107棟付 2.33041
敷-材	材	100	105	2000	0.0230	15	0.3445	
敷-材	材	105	120	2000	0.0238	12	0.4526	
敷-材	材	105	120	2000	0.0472	8	0.3776	
敷-材	材	105	120	4000	0.0630	8	0.4048	
敷-材	材	105	180	4000	0.0758	8	0.4526	107棟付 2.33041 ★
土台	材	100	105	2000	0.0233	13	0.2925	
土台	材	100	105	4000	0.0441	15	0.6516	土台付 1.0573 ★
合計							4.8472	

合法木材証明書に、部位ごとに累計(青字)が記載されている場合は、木拾表の作成は不要です。

累計は合法木材証明書の写しに手書きで書き込んでも結構です。

証明書は、最終出荷者が発行したものが必要です。(例2, 例3も同様)

様式12のB欄に該当する材積  
様式12に、★の材積の少数点以下第3位を切り捨てた値を記入する。

# 完了実績報告の提出書類～地域材関係③

共通事項

## 合法木材証明書（例2）：納品書を活用

### 納品書

令和元年 10月 16日

株式会社〇〇工務店 殿

現場名 ◆田圃部、◆田●子様邸新築工事  
建設場所 東京都新宿区△△町 306 番地 1  
納品日 令和元年 10月 16日

株式会社〇〇木材  
東京都〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
TEL.042-\*\*\*\*-\*\*\*\*\*

品名	樹種	W	H	L	材積	数量	材積	備考
柱	杉	100	100	3000	0.0330	44	1.4520	
柱	杉	120	120	3000	0.0432	12	0.5184	④地域材 2.3550 ★
通し柱	杉	120	120	6000	0.0864	4	0.3456	④ 2.6400
梁・桁	杉	100	100	3000	0.0330	18	0.5940	
梁・桁	杉	100	150	3000	0.0500	12	0.6000	
梁・桁	杉	100	150	3000	0.0472	8	0.3776	
梁・桁	杉	100	150	4000	0.0630	8	0.5040	
梁・桁	杉	100	180	4000	0.0798	8	0.6384	④材積 2.3400 ★
土台	桧	100	100	3000	0.0330	12	0.3960	
土台	桧	100	100	4000	0.0441	15	0.6615	④材積 1.0575 ★
合計							0.0883	

この製品は、合法性・持続可能性が証明された  
木材・木質材を使用しています。  
団体認定番号 □□木連第\*\*\*\*\*号

様式 12 の A欄 に該  
当する材積  
様式 12 に、★ の  
材積の少数点以下  
第 3 位を切捨てた値を  
記入する。

納品書に必要事項を記載して証明する場合です。

## 合法木材証明書（例3）：証明する木材が別紙

### 合法木材証明書

令和元年 10月 16日

株式会社〇〇工務店 殿

納品日と証明日が異なる場合は、  
証明する日も認定の有効期間内  
であることを確認してください。

株式会社〇〇木材  
東京都〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
TEL.042-\*\*\*\*-\*\*\*\*\*  
団体認定番号 □□木連第\*\*\*\*\*号

下記の物件で使用した木材は、合法性・持続可能性が証明された木材・木質材を使用した  
製品であることを証明いたします。

- 現場名 ◆田圃部、◆田●子様邸新築工事
- 建設場所 東京都新宿区△△町 306 番地 1
- 納品日 令和元年 10月 16日
- 樹種 杉、桧
- 木材の内訳 別紙納品明細書 (NO.102080) のとおり

以上

証明する木材の内訳を別紙とす  
る場合は、別紙がどの書類であ  
るか明確にしてください。  
「別紙のとおり」では、どの書類  
の木材を証明しているのか分か  
らないことがあります。

# 完了実績報告の提出書類～地域材関係④

共通事項

## 合法木材証明書（例3）の別紙

納品明細書を合法木材証明書の別紙とする場合、書類名、番号等が整合していることを確認してください。

納品明細書

NO.102030

令和元年10月15日

株式会社〇〇工務店 殿

貴 店 名 ◆田舎町、◆田舎子保育園新築工事  
建設場所 東京都新宿区△△町 305番地 1  
納 品 日 令和元年10月15日

株式会社〇〇会社  
東京都〇〇区〇〇町〇〇番地〇〇  
TEL 042-\*\*\*-\*\*\*\*

品名	規格	W	H	L	材種	数量	材積	備考
柱	杉	105	105	3000	0.030	54	1.620	
柱	杉	120	120	3000	0.0432	18	0.7776	0.0432×18=0.7776 ☆
通し柱	杉	120	120	6000	0.0864	4	0.3456	0.0864×4=0.3456 ☆
梁・桁	杉	105	105	3000	0.030	18	0.540	
梁・桁	杉	105	120	3000	0.0378	12	0.4536	
梁・桁	杉	105	150	3000	0.0472	8	0.3776	
梁・桁	杉	105	180	3000	0.0630	8	0.504	
梁・桁	杉	105	240	3000	0.0858	4	0.3432	0.0858×4=0.3432 ☆
土台	松	105	105	3000	0.030	10	0.2970	
土台	松	105	105	4000	0.0441	10	0.441	0.0441×10=0.441 ☆
合計							6.672	

様式12のA欄に該当する材積  
様式12に、★の材積の少数点以下第3位を切り捨てた値を記入する。

## 納品書（最終出荷者→施工事業者）

出荷する会社の住所、納品先、納品日が合法木材証明書と整合しているか、確認してください。

納品書

令和元年10月15日

株式会社〇〇工務店 殿

貴 店 名 ◆田舎町、◆田舎子保育園新築工事  
建設場所 東京都新宿区△△町 305番地 1  
納 品 日 令和元年10月15日

株式会社〇〇会社  
東京都〇〇区〇〇町〇〇番地〇〇  
TEL 042-\*\*\*-\*\*\*\*

品名	規格	W	H	L	材種	数量	材積	備考
柱	杉	105	105	3000	0.030	54	1.620	1
柱	杉	120	120	3000	0.0432	18	0.7776	2
通し柱	杉	120	120	6000	0.0864	4	0.3456	3 地域材外
梁・桁	杉	105	105	3000	0.030	18	0.540	4
梁・桁	杉	105	120	3000	0.0378	12	0.4536	5
梁・桁	杉	105	150	3000	0.0472	8	0.3776	6
梁・桁	杉	105	180	3000	0.0630	8	0.504	7
梁・桁	杉	105	240	3000	0.0858	4	0.3432	8
梁・桁	杉	105	240	4000	0.1074	2	0.2148	9
梁・桁	杉	105	300	4000	0.1287	2	0.2574	10
梁・桁	杉	105	360	4000	0.1544	1	0.1544	11
梁・桁	杉	105	300	6000	0.1872	3	0.5616	12
梁・桁	杉	105	300	8000	0.2496	1	0.2496	13
梁・桁	杉	105	360	8000	0.3096	1	0.3096	14
土台	松	105	105	3000	0.030	10	0.2970	15
土台	松	105	105	4000	0.0441	10	0.441	16
庇	杉	105	105	4000	0.0441	6	0.2646	
防雨	杉	105	105	3000	0.030	8	0.2408	
棟木	杉	120	120	3000	0.0720	2	0.144	
小屋梁	杉	105	105	2000	0.020	15	0.3045	
巻木	杉	45	90	4000	0.018	75	1.350	
天引	杉	105	105	4000	0.0441	18	0.7938	
間柱	杉	45	105	3000	0.014	138	1.9048	
合計							12.492	

納品書に、部位ごとに集計（青字）が記載されている場合は、木拾表の作成は不要です。

集計は納品書の写しに手書きで書き込んでも結構です。

様式12のA欄に該当する材積  
様式12に、★の材積の少数点以下第3位を切り捨てた値を記入する。

# 完了実績報告の提出書類～地域材関係⑤

共通事項

## 木拾表

【報告者の氏名】  
木拾表: 主要構造材(柱・梁・桁・土台)用

【報告者の住所】  
〒100-0001 東京都千代田区千代田

【報告者の電話番号】  
03-XXXX-XXXX

部位	材積				材積率 (%)	材積率 (%)	材積				備考	
	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )			材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )		
柱	材	0.395	0.195	4.000	0.0430	34	1.7819	<input type="checkbox"/> 合算木材	64	1.7819	1	
	梁	0.320	0.320	3.000	0.0400	13	0.6364	<input type="checkbox"/> 合算木材	13	0.6364	7	
	桁	0.170	0.130	4.000	0.0094	4	0.3476	<input type="checkbox"/> 合算木材	4	0.3476	0	地域材
梁・桁	材	0.165	0.165	3.000	0.0199	16	4.9040	<input type="checkbox"/> 合算木材	16	0.6840	4	
	梁	0.165	0.165	3.000	0.0219	13	4.4509	<input type="checkbox"/> 合算木材	13	0.4836	5	
	桁	0.104	0.104	3.000	0.0472	8	4.2774	<input type="checkbox"/> 合算木材	8	0.3790	6	
	材	0.165	0.165	4.000	0.0092	8	4.8049	<input type="checkbox"/> 合算木材	8	0.0080	2	
	梁	0.104	0.100	4.000	0.0704	8	0.4938	<input type="checkbox"/> 合算木材	8	0.4308	8	
	桁	0.208	0.210	4.000	0.0264	2	0.2919				0	
	材	0.104	0.200	4.000	0.0369	2	0.5620				10	
	梁	0.165	0.200	4.000	0.0512	3	0.1512				10	
	桁	0.104	0.200	4.000	0.0575	2	0.3180				10	
	材	0.100	0.200	4.000	0.1502	1	0.1702				10	
桁	0.308	0.280	5.000	0.1800	2	0.2748				14		
小計						0.2016				0.2016		

合算木材として証明されているが、構成員外による供給である場合等、地域材でない場合は、地域材には計上しない。

地域材とした部位ごとにまとめた集計表を作成してください。  
納品書等に、部位ごとに集計が記載されている場合は、木拾表の作成は不要です。

様式12のA欄及びB欄に材積を記入する際は、★の材積の少数点以下第3位を切捨てた値を記入する。

部位	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積率 (%)	材積率 (%)	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	材積 (m <sup>3</sup> )	備考	
土台	材	0.100	0.200	3.000	0.0080	13	0.2960	<input type="checkbox"/> 合算木材	13	0.2960	10	
	梁	0.025	0.100	4.000	0.0440	15	0.6615	<input type="checkbox"/> 合算木材	15	0.6615	10	
小計						1.6675				1.6675		
合計						7.6175				7.6175		

## 実績報告 様式12

様式12 (長寿命型)

報告年度: 2008 事業年度: 0876501 報告区分: □□ □□ □□ △△

## 地域材供給体制等実績表

### 1. 対象住宅における地域材供給体制調査表

区分	A 合算木材届出制度		B		C	
	届出番号	事業者名	材積 (m <sup>3</sup> )	事業者名	材積 (m <sup>3</sup> )	事業者名
構造材	1	〇〇建築材株式会社				
	2	〇〇建築材株式会社				
	3	〇〇建築材株式会社				
	4	〇〇建築材株式会社				
部材(木材)調達	1	〇〇建築材株式会社				
	2	〇〇建築材株式会社				
	3	〇〇建築材株式会社				
	4	〇〇建築材株式会社				
プレキャスト	1	〇〇プレキャスト株式会社				
	2	〇〇プレキャスト株式会社				

加工業者 (4桁)  自社加工・補助業者による木材加工 (加工業者が別添の木材供給履歴表にプレキャストを含む)

### 2. 対象住宅における地域材使用量調査表 (主要構造材のみ記入)

使用部位	部位ごとの材積 (m <sup>3</sup> )	部位ごとの材積 (m <sup>3</sup> )
柱	2.04 m <sup>3</sup>	2.30 m <sup>3</sup>
梁・桁	0.05 m <sup>3</sup>	2.38 m <sup>3</sup>
土台	1.05 m <sup>3</sup>	1.05 m <sup>3</sup>
合計	7.04 m <sup>3</sup>	6.73 m <sup>3</sup>
地域材の割合 (%)		7.9 - 9.3 %

部位ごとの集計結果の少数点以下第3位切捨てとして記載してください。  
合計は、この形式に記載した材積の計算結果としてください。

※ 丸太加工については、「使用する木材企業」で読み替える。  
※ 2×4工法については、下表の通り読み替える。

制材工法	材	部	材	土 台
2×4工法	縦材、上下材	柱、梁、土	土 台	土 台

(注) 二桁の欄の大半は、自ら入力欄A4とすること。